

3月記者懇談会

令和7年3月28日(金)
午前11時00分 203会議室

出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞、中日新聞
事務局：鈴木、小笠原、境澤

町長月間予定(総務課)

○月間行事予定の説明

町の主なトピックス(担当課PR分)

○住民窓口について(住民税務課 住民係)

○町職員名札のデザイン等の変更について(総務課 人事係)

○令和6年度箕輪町住民満足度調査について(企画振興課 まちづくり政策係)

令和6年度箕輪町17歳町民意識・生活実態調査について

(くらしの安全安心課 多文化共生・男女共同参画新進室)

○森林(もり)の里親(としまの森)協定更新について

(企画振興課 みのわの魅力発信室)

○町発足70周年記念事業について(企画振興課 みのわの魅力発信室)

記念グッズ【第2弾】について

回覧版の完成について

町長コメント

1. 住民窓口について（住民税務課 住民係）

○概要

別紙資料にて説明

資料

住民係 住民窓口運用変更

◆キャッシュレス環境構築

住民係での証明書取得等手数料についてキャッシュレス対応します。

利用可能な決済手段（現金は引き続き利用可能です）

- ・各種クレジットカード
- ・各種電子マネー（交通系IC、WAONほか）
- ・各種二次元コード（PayPay、auPay、メルペイほか）

◆おくやみ手続き簡易的な「書かない窓口」化

おくやみ手続きについて、2025年1月末からエクセルシートを活用し簡易的な「書かない窓口」の運用を開始しました。これにより来庁される方が「書く」工数を大幅削減しました。順次他の手続きにも拡充可能か検討してまいります。

◆受け窓口の一本化

受け窓口を一本化し最初にご用件をお聞きする形となっています。

今後もなるべくお待たせしないよう、また利便性を向上できるよう運用を継続して見直してまいります。

（担当）おくやみ手続き簡易的な「書かない窓口」化は、システムを導入したというわけではなく、職員がエクセルシートを作成することで、書く工程を削減しました。

○質疑応答

（記者）キャッシュレス環境の構築は、住民税務課の窓口には1台あり、それを使う希望の方が使えるということですか。

（担当者）基本的には証明書発行の手数料に使います。窓口に関係する業務についてのみです。

（記者）台数は？

（担当者）1台です。

（記者）自動釣銭機の導入は？

（担当者）次年度です。

2. 町職員名札のデザイン等の変更について（総務課 人事係）

○概要

別紙資料にて説明

資料

町職員名札のデザイン等の変更について

箕輪町制施行70周年を記念して、職員が着用する名札をロゴマーク入りデザインへ変更します。

- 対象職員 全職員（会計年度任用職員を含む）
- 名札の内容 所属部署、名字（ふりがな）
- 今後の予定 令和7年4月から配布

【変更前】



【変更後】



SNSの普及により個人情報を検索される不安等もある中で、職員のプライバシーを守り、職員が安心して働けるよう、全職員の名札を名字のみに変更します。

3. 令和6年度箕輪町住民満足度調査について

(企画振興課 まちづくり政策係)

令和6年度箕輪町17歳町民意識・生活実態調査について

(くらしの安全安心課 多文化共生・男女共同参画新進室)

○概要

別紙資料にて説明

資料

令和6年度 箕輪町住民満足度調査報告書について

R5年調査からの変更点

- ①取組26項目の取組み内容の修正
- ②昨年度電子回答率が高かった20代～50代に原則電子回答での調査を依頼

調査結果要旨

- ① 回答率は前年に比べて増加 50.8%→53.2% (2.4%増加)
ネット回答者数も上昇。R4:152人、40.6% R5:256人、50.4% R6:293人、55.1%
- ② 愛着度、満足度ともに前年より減少(過去4年間の平均値と同水準)
R6:81.2%(R2～R5の4年平均:82.5%)、R6:78.7%(R2～R5の4年平均:80.0%)
- ③ 子どもに箕輪町に住んで欲しいは減少するも、箕輪町に帰ってきて欲しいは増加
R5:47.6%→R6:45.7%(1.9%減少)、R5:39.6%→R6:42.9%(3.3%増加)

各設問について

- 問1 町への愛着度(愛着を感じている) 81.2%(前年81.5%から0.3%減少)
【参考値】4年度:84.7% 3年度:83.6% 2年度:80.1% 元年度:79.5%
- 問2～4 生活の満足度(満足している) 78.7%(前年79.2%から0.5%減少)
【参考値】4年度:83.1% 3年度:79.5% 2年度:78.2% 元年度:76.7%

満足の理由	①自然環境に恵まれている	②日常生活が便利	③安全・安心な環境
不満の理由	①飲食店や娯楽施設が少ない	②日常生活に不便を感じる	③医療環境が整っていない

- 問5 これからも町に住み続けたい 75.8%(前年75.0%から0.8%増加)
- 問6 子どもに箕輪町に住んで欲しい 45.7%(前年47.6%から1.9%減少)
- 問7 箕輪町に帰ってきて欲しい 42.9%(前年39.6%から3.3%増加)
- 問8 町の情報は、何から入手しているか 1位:町の広報紙:78.8%(前年77.0%)
4位:みのわメイト:28.2%(前年26.0%)
- 問9 町は政策の説明をしている 55.1%(前年53.7%から1.4%増加)
- 問10 町に意見を伝える機会 1位:区や常会を通じて:40.8%
- 問11 町は、町民の意見を聞き入れている 48.2%(前年48.3%から0.1%減少)
- 問12 取組みの満足度・重要度(26項目の取組みについて)の上位3項目

取組みの満足度

- R6年度:①理解され信頼される行政運営2 ②安全・安心の推進 ③育児・子育て支援
- R5年度:①地域ぐるみの健康づくり ②理解され信頼される行政運営2 ③育児・子育て支援

取組みの重要度

- R6年度:①医療体制づくり ②道路、橋梁の整備 ③上下水道の整備
- R5年度:①医療体制づくり ②道路、橋梁の整備 ③上下水道の整備

「行政運営2」とは
窓口サービスや職員の
挨拶、接遇等の項目

○町長より

住民満足度調査は、振興計画の検証作業ということで毎年行っており、基本的には満足度と愛着度の状況が大事なところと思っています。ほぼ例年と同じような数字で大きな変化はないと思っています。

一番課題なのは、問5,6,7の辺りで、人口規模の維持をしていきたい中で、おかげさまで大きな人口減にはなっていませんが、高校生が卒業するときに就職や進学で当然外へ出ていくことになると、その皆さんがいかにもUターンしてもらえるかが町の転出入を考えると一番大事なポイントですが、なかなか数字が上がってきません。

特に、一つのポイントは、子どもたちに教育の段階で愛着度を高めるということが一つと、進学の段階で箕輪町が働く場所、生活する場所として魅力ある場所で帰ってきていただくことですが、これからも町に住み続けたいは75.8ポイントです。ところが、出ていった皆さんに対して、子どもに箕輪町に住んでほしい、箕輪町に帰ってきて欲しいが50%以下ということで、就職先を決めるときに親御さんがどのような対応をしてくれるかは非常に大きなポイントだと思っています。もちろん、子どもが自由に選択をして、自分の進学先や就職先を決めていくことに決して否定するわけではないですが、親の一言 地元へ帰ってこいという気持ちになってくれたらありがたいと思っています。これは私達の世代も子どもに任せるといところが非常に強かったので、こういった回答になるのは仕方ないと思っていますが、この地域にも企業や働く場所があるわけで、できる限りUターンができるような形にしていかなければいけないと思っていて、今後の数字がどう動いていくのか非常に注目をせざるを得ないと思っています。正直、ちょっと残念ですが、このような数字で今動いているということで報告をさせていただきます。

令和6年度 箕輪町17歳町民意識・生活実態調査報告書について

令和5年度調査からの変更点

①多文化共生の推進に関する質問の追加

→17歳が多文化共生の重要性をどのように考えているか、また多文化共生実現の障壁になっていると思うものを問うことで、今後の多文化共生事業の施策に反映することを目的とした。

②箕輪町議会に関する質問の追加

→17歳が箕輪町議会にどの程度関心があるか調査することを目的とした。

調査結果要旨

- 調査対象者 263 人に対し、有効回答者数は 112 人 : P1
- 回答率は前年に比べ上昇 39.7%→42.6% (昨年度同様インターネット回答のみ : P1)
- 町への愛着度、貢献したいと考える割合は昨年度より増加 : P3、P4
(愛着度 6.9 ポイント増、貢献度 3.4 ポイント増)
- 生活の満足度は昨年と同じ傾向。「かなり満足している」と回答した率は昨年度より 6.4 ポイント増加 : P5
- 新設問 17 多文化共生社会の実現を推進することについて「重要だと思う・少し重要だと思う」と回答した率 72.3% : P24
- 新設問 21 箕輪町議会について「関心がある・少し関心がある」と回答した率 25.0% : P30

各設問について

- 問1 町への愛着度(愛着を感じている) **75.0%(前年比 6.9 ポイント増加) : P3**
- 問2 町への貢献度(役に立ちたい) **51.8%(前年比 3.4 ポイント増加) : P4**
- 問3 生活の満足度(満足している) **72.3%(前年比 2.0 ポイント増加) : P5**
 - ・満足の理由 ①自然環境 ②買い物など日常生活が便利 ③犯罪や災害が少ない : P6
 - ・不満の理由 ①飲食店や娯楽施設が少ない ②通勤・通学が不便
③スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境が整っていない : P7
- 問6 これからも町に住み続けたい **59.0%(前年比 2.9 ポイント増加) : P8**
 - ・町外で暮らしたい理由 →「高校卒業後の進学先が不足しているため」が上位 : P9
 - ・箕輪町に帰ってきたい時期 →①就職時→**52.1%(前年比 19.7 ポイント増加)**
②退職時→**18.8%(前年比 2.8 ポイント減少) : P10**
- 問7 高校卒業後の希望進路→ ①大学(県外) →**34.8%** ②就職・転職(県内)→**19.6%**
③大学(県内)→**15.2% : P11**
- 問10 地域情報の取得方法→ ①知人・友人→**36.6%** ②町の広報紙、新聞→**31.3% : P17**
- 問11 「みのわメイト」→ 「知らなかった」 **25.0% (前年比 29.9 ポイント減少) : P18**
- 問12 よく利用する情報サービス→①「Instagram」 **59.8%** 「X (旧ツイッター)」 **33.9% : P19**
- 問13 得たい情報→ 「お店や遊ぶ場所の情報」 → **42.0%** 「災害等地域の緊急情報」 → **32.1% : P20**
- 問15 生活の中でジェンダーによる不平等を感じることもあるか。「ない」 →**64.3%** 「ある」 →**4.5%**
男性の 75.0%が「ない」と回答する一方、女性は 56.5%と 18.5 ポイントの差がある : P22

○町長より

高校3年生がどのようなふうにごこの地域のことを考えたり、今後のことを考えているかということで、回答率が40%を超えていますのでかなり正確な数字になっていると思っています。箕輪町に住み続けたい、帰ってきたい、そういったところを注目しながら、できる限り町に対する愛着や貢献が増えていくようにやっていきたいと思っています。

○質疑応答

(記者) 住民満足度調査の設問 5,6,7 のところで、ご感想として少し残念というのは、この結果に対してですか、それとも上昇があまりない状況に対してですか？

(町長) 両方かもしれないです。少しずつ上がってほしいと思っています。中学生小学生に箕輪学を導入して、箕輪町のことを肌で感じて勉強してもらい、そして高校へ行って進学をしていくわけですが、その教育の段階で箕輪に対する、長野県に対する、地域に対するものが薄れないようにしていきたいと思っています、それが最終的にUターンにつながればと思っています。やはり都会にはどうしても勝てない部分があって、そこは本当に残念というか仕方がないのですが、それを超えていかないと東京一極集中は止まらないので、ここは真摯に受け止めていきたいと思っています。

(記者) 子育て支援策は今までもやられてきたかと思いますが、来年度の重要政策において、町長もお話の中でこの町で育てていくことも重要だというお話があったと思うのですが、そういったところもこういったところにつなげていきたいという思いがありますか。

(町長) はい。やはり親御さんがこの地で住まなくてもいいよと考えるのは少し寂しいです。そういった上で、自分が世界に飛び出て行きたいという気持ちはいいのですが、地域を育てていきたい、地域に貢献したいという皆さんがいていただく必要があるので、その部分についてはまず子育てのときから、そして実際に教育の段階で対応しなければいけないと思います。

(記者) 同じ項目の住んでほしいか、帰ってきてほしいかというところですが、親の意識の年代別の変化が非常に変わっているなという印象で、特に 70 歳以上になると帰ってきてほしいという思いは切実さを感じ、やはり介護や相続という問題があるのかなと思うのですが、親の世代に向けて何か町としてアプローチ、呼びかけなどお考えがあるようでしたら教えていただけますか？

(町長) 帰ってくるにはやはり働く場所が若い皆さんにないといけないということです。魅力的な場所が働く場所としてないかという、そんなことはなくて、確かに製造業が中心ではあると思うのですが、世界に冠たる製造業の集積地であって、そういったことを親御さんがなかなか知らなくて子どもに任せますという形になっている。親御さんに地域の産業のありようとか、現状をわかっていただくために、広域連合では例えば親に地域の企業を見てもらおうようなことしています。そういったことをもう少し進めていかないとと思います。東京とか名古屋との距離はもう克服できる時代です。決して東京にいることだけが魅力的な生活ができるわけではありません。田舎のもっと違った魅力的な生活はあると思うし、東京に負けないような都市的な生活だってできないわけではない。そういったことをもう少し親御さんにわかってほしいと思います。

4. 森林（もり）の里親（としまの森）協定更新について （企画振興課 みのわの魅力発信室）

○概要

別紙資料にて説明

資料

としまの森整備事業

豊島区交流推進事業の一環として、豊島区に交付される森林環境譲与税を活用した、「としまの森」整備事業に令和2年度から取り組んでいます。

■主な取組み
 ○ながた自然公園及び周辺森林の整備 ○としまの森PRによる都市部での認知度向上 ○環境交流ツアー等による交流人口の引き込み
 本事業により、環境保全、防災、観光に資する森林の整備を進めると共に、豊島区を中心とする都市部住民の関係人口、交流人口の増加を目指します。

としまの森整備事業

豊島区
負担金支払い

東京メトロ
森林環境譲与税

としまの森
整備

間伐等森林整備

としまの森
里親契約
令和2年度～6年度

豊島区
吸収量認証

長野県
※指定機関

CO2吸収量評価

整備が必要な森林
(ながた自然公園及び周辺)

ねらい
●環境保全
●防災
●観光資源

としまの森PR事業

■としまの森看板設置
としまの森に看板を設置
場所：ながた自然公園

■としまの森の映像制作
としまの森整備事業について豊島区を中心にPR

発信

ねらい
●交流人口
●関係人口
増加

豊島区を中心とする
都市部住民

引き込み

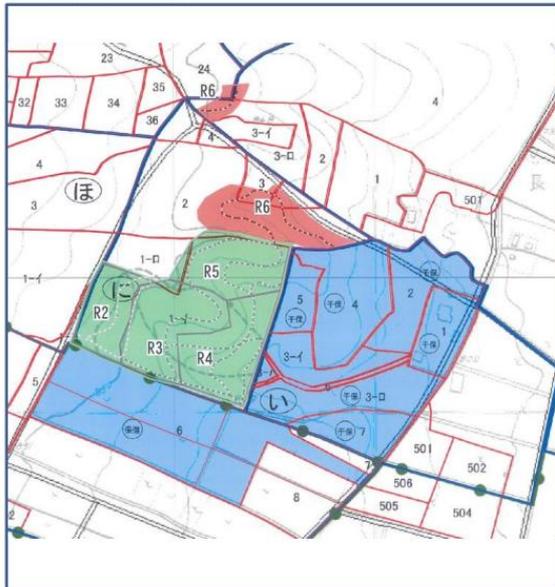
■環境交流ツアー受入れ
としまの森を訪問する都市部住民向けツアー（年1回）
※ツアーは豊島区主催
令和4年～令和6年11月実施

環境交流ツアー事業

■自然・森林体験イベント
ツアーに併せてとしまの森で自然体験・森林作業体験をするイベントを開催

令和2年度～令和6年度事業実施報告

【作業箇所・面積】



【作業内容】



間伐

植林後から実施していないヒノキの間伐及び、ヒノキを被圧しているアカマツの伐採を実施しました。

作業道開設

伐採した間伐材を搬出する作業道を開設しました。作業道は遊歩道としても有効に活用できます。



破砕敷き均し

伐採した枝条を破砕処理し、作業道に敷き均しを行いました。

施業前の様子

ヒノキとアカマツの密生により地表に日光が届かず下層植生も生育しない不健全な状態



施業後の様子

間伐により地表に日光が入り、健全な森林の生育が期待できる状態

搬出道の開設により、今後の森林整備もスムーズに行える環境に



森林整備活動によって得られたCO2吸収量

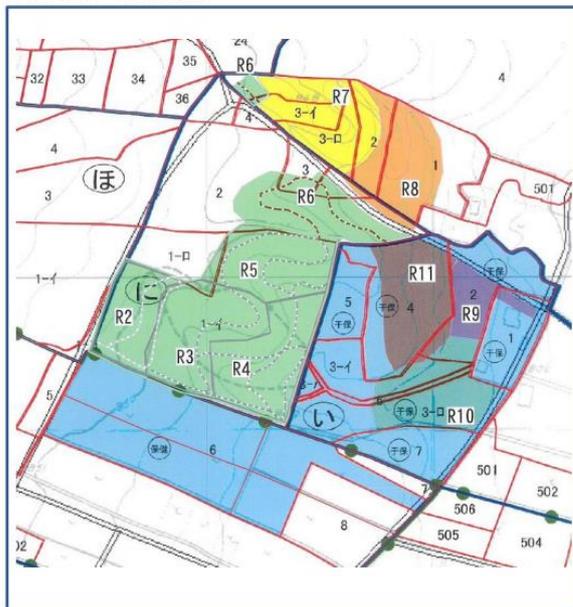
年度	整備面積 ^{※1}	CO2吸収量 ^{※2}
R6	0.75hta	28.3t-CO2/年 (新規認証分1.0t+複数年認証分27.3t)
R5	0.75hta	28.9t-CO2/年 (新規認証分8.3t+複数年認証分20.6t)
R4	0.75hta	20.6t-CO2/年 (新規認証分8.3t+複数年認証分12.3t)
R3	0.78hta	12.1t-CO2/年 (新規認証分7.4t+複数年認証分4.7t)
R2	0.5hta	4.7t-CO2/年 (初年度)

※1. 整備面積には作業道開設含む。

※2. 長野県「森林の里親促進事業」CO2吸収評価認証制度による認証

としまの森整備事業 更新（令和7年度～令和11年度）

【新たな整備か所】



【協定更新セレモニー】

<日時>

令和7年4月2日(水)午後2時～2時30分

<場所>

豊島区役所 区長応接室

<出席者>

・豊島区
豊島区長、環境清掃部環境政策課

・箕輪町

箕輪町長、みのわの魅力発信室

<協定内容>

森林(もりの)里親(としまの森)協定を
更新し、としまの森整備事業及び環境交流
事業を継続して実施する

○町長より

としまの森の整備事業は豊島区の森林環境譲与税をさせていただいて、そのお金でながた自然公園の森林整備をさせてもらっています。里親協定を結んでおりますので、里親は豊島区ですので、豊島区民が里子の箕輪へ来てもらい交流をしましょうということでもあります。それにプラスしてカーボンオフセットの仕組みを活用し Win-Win の関係にあるということです。5 か年経ち

まして、ながた自然公園もだいぶ整備をされてきましたが、まだ足りないのでこれからまた森林整備をしていきたいという趣旨であります。区長さんに4月にお願いをしてきたいと思っています。

○質疑応答

(記者) 当日の写真を取ってきていただいて、ご提供いただければと思います。

これは豊島区側から何か提案があって始まったのですか？

(町長) こちらからお願いしました。こういった仕組みをすれば豊島区も Win-Win で、かつ豊島区民もこちらに来て環境交流を出来る仕組みにしてありますので、両方ともプラスプラスということをお願いして実現に至って5年経過いたしました。

(記者) 豊島区とはもともと交流があったのですか？

(町長) ずっと交流をしまいりました。

5. 町発足 70 周年記念事業について

(企画振興課 みのわの魅力発信室)

記念グッズ【第2弾】について 回覧版の完成について

○概要

別紙資料にて説明

資料

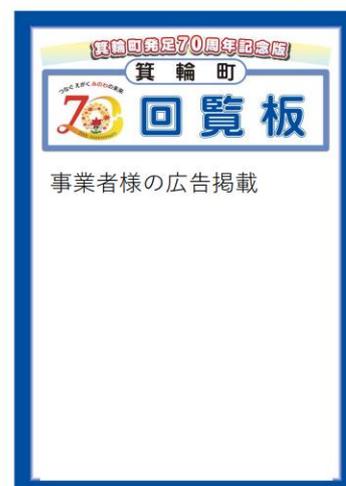
箕輪町発足 70 周年記念グッズ【第2弾】

- ◆制作グッズ：缶バッジ
- ◆制作数：1, 200個
- ◆用途：役場職員などの着用
記念サポーターに配布
イベント等で配布及び販売
※販売価格100円程度



町発足 70 周年記念版 回覧版の完成について

- ◆町発足70周年記念版 回覧版：750部
- ◆こちらは制作にご賛同いただける地域事業者の皆様のご協力による広告掲載費により株式会社志陽堂に制作いただきました
- ◆4月上旬に区長会をとおして各常会へ配布します



○町長コメント

この1年間どうもありがとうございました。おかげさまで1年間順調に事業が進んだと思っています。特に本年度は、今まで検討を重ねてきた施設、みのわBASE、郷土博物館がオープンし、体育館武道館の改修もそうですが、順調に事業が進んでおりまして、また役場周辺の工事についても竣工検査も終わり、来月竣工式になります。当初のゼロカーボンを進めようという意図はだいたい具体化してきたなと思っています。

とりわけみのわBASEですが、3月18日現在4万5000人を超える利用をいただいております。学習室も1万1000人を超えているということで、当初予定した以上に使っていただいています。居心地の良さとか、開放的で快適な空間だというふうに言っていただいておりますけれども、多世代活用を引き継ぎの課題にしていきたいと思っています。だいたい周知認知が進んできましたので、これから新しい学年になった子どもたちの活用も期待をしていきたいと思っています。

また子ども計画、町の主要政策についても、来年度事業ができるような段階になってきました。頑張っってやっていきたいと思っていますので、報道の皆さんのご協力をお願いします。

○質疑応答

(記者) トランプ大統領の輸入車の25%関税ですが、町内の自動車関係、直接間接関わっている企業さんもいるのかなと思うのですが何か影響があるのか、町としてどのような対応を考えていらっしゃるのか教えていただけますでしょうか？

(町長) 自動車関連工場は相当数ございます。影響は必至と思っています。全体として製造業はかなり厳しい状況にはありましたが自動車系は良かったというのもあり心配しています。企業相談員等がそれぞれの企業をまわっていますので、情報を捉えてどんな状況か確認していきたいと思っています。